



がんばる経営者を 応援する納税協会

今回の若手経営者をご紹介いたします。

「金欄」の伝統を守りつつ 幅広く新分野にチャレンジ



(社)上京納税協会 若葉会
株式会社 伴戸商店
代表取締役社長 伴戸 恒夫

金糸、銀糸を織り込んだ「金欄(きんらん)」は、京都・西陣を代表する伝統織物。

当社は、この金欄の製造卸として多様な柄・デザインの生地を全国のさまざまな業種のお客様に提供しています。主に人形用衣裳、和装小物、仏具、茶道具等が中心ですが、最近は金欄の用途も広がり、洋風の革製品から家具、店舗内装など、新たな業界の方から声をかけていただくようになりました。数年前からは大手靴メーカーと共同で金欄を使ったスポーツシューズを開発し、世界各国で大好評をいただいています。

西陣の地盤沈下が言われていますが、見方を変えれば、市場がどんどんグローバル化しているとも言えます。金欄という素材は、色々な分野に应用が効くことが強み。今後、も伝統に培われた技と感性を大切にしながら、新分野にも積極的にチャレンジしていこうと思っています。

税を通して地域に貢献し 地域とともに成長していく

上京納税協会若葉会は、毎年多彩な事業を展開しておりますが、昨年は、創立15周年に当たり、作家の五木寛之氏を招いての記念講演会を開催しました。

また、e-taxの利用推進プロジェクトを立ち上げ、一年をかけて取り組みました。入力講習会のほか、定例研修会においてe-tax送信の実演もしました。確定申告期には、納税協会に会員が集まって、e-taxによる申告書の一斉送信式を行いました。

企業において、納税によって利益を還元していくことは、最も基本的な地域貢献だと思えます。特に私たちは、長い歴史のある「京都・西陣」というブランドで商売をさせていただいています。目先の利益だけを追うのではなく、「長い目で地域を育てる。」という姿勢を大切に、地域とともに成長していくと思っています。

NEWS

納税協会ホームページで、皆様に税制についてご意見をお伺いする税制アンケートを実施中。

- (社)上京納税協会
- (社)福知山納税協会
- (社)左京納税協会
- (社)舞鶴納税協会
- (社)中山納税協会
- (社)宇治納税協会
- (社)下京納税協会
- (社)宮津納税協会
- (社)右京納税協会
- (社)園部納税協会
- (社)伏見納税協会
- (社)峰山納税協会

各納税協会では、ホームページを開設して独自の情報を発信しています。